



5 月です

スタートから 1 カ月経ちました。主活動や遊びを通して新しいお友達と一緒に過ごす中で「〇〇ちゃんいる～」と年齢の異なるお友達と遊ぶのを楽しみにしていたり、一緒にゲームを楽しんだりしています。

さて、5 月はこどもの日や母の日と行事が盛りたくさんです。工作が好きなレフトの子供たちは鯉のぼりのイラストにぬりえをしたり、形に切り取って、糊つけしたり、割り箸に付けたりとそれぞれに個性のある鯉のぼりが完成しました。

その鯉のぼりや新聞紙で作った兜を靴箱の上の壁面に飾りました。見た目には小さい鯉のぼりですが、出来上がった時は笑顔で、くるくる回して遊ぶ姿は微笑ましく思えました。

また、母の日では折り紙のカーネーションにメッセージカードを貼り、「お母さんに持って行く～」「お母さんにあげる～」と喜ぶ姿が見られました。

そして、手形作りをしました。出来た手形を眺めると、それぞれの子たちの成長を感じることができました。

これからも子供たちの成長を見守っていききたいと思います。



デイサービス通信

新しい仲間



4 月から新しい利用者さんが、3 人増えました。

I さんはとても控えめな方ですが、まごころのデイサービスで「絵手紙」を描きたいと望まれ、早速心のこもった作品を一生懸命描かれました。

Y さんは歩行に不安があり、杖をついて歩かれるときは傍で見守る必要がありますが、青年時代には野球のキャッチャーをしていたそうです。字を書かれるととても達筆な字です。

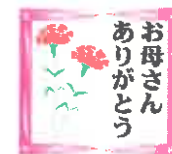
T さんはまごころ最高齢 92 歳で、話し出すと止まらないくらいとてもお元気です。1 日に 3 人以上の人と話をするのが日課だそうです。

デイサービスの利用者さんは、それぞれいろんな個性をもって集って見えます。ひとりひとりが満足して、くつろいでいただけるデイサービスを心がけたいと思います。



昼食の「棒餃子」作りにチャレンジ

心づれづれ



義母のこと

今から 10 年前、義母の生活に変化がありました。時間意識のずれ、行動パターンに会話の繰り返しがあったりして、困って受診に出掛け驚きの診断でした。

若い時に夫を亡くし、女手ひとつで 4 人の子供たちを育て、色々な苦労があったと主人に聞いていました。近くに住んでいたので、子供たちが小さい時はよくお世話してくださり、とてもありがたかったです。

その頃から私は、一宮まごころで介護ヘルパーとして働くようになりました。義母の変化から私自身の心が不安定になり、義母のことで一杯々の日々でしたが、月 1 回の勉強会の介護技術など、私にとっては学ぶことも多くありました。訪問介護やデイサービス、ショートステイを利用するようになり、私も少しずつ義母に接する余裕が出てきました。ゆっくりと車椅子で近くのスーパーへ買い物や散歩に出かけるようになり、義母にも笑顔が出てきました。

ベッド上での生活が多くなった義母は、ラジオで野球中継をよく聴いていて、ドラゴンズが勝った日などは、嬉しそうに「〇〇さんが投げると勝つネ」「一度名古屋ドームへ行きたい」と話していましたが、夢は叶うことができませんでした。その後入退院を繰り返し、自宅ではミキサー食から流動食、痰の吸引と変化しその都度、訪問看護師さんに相談しつつ、色んな方々に助けていただきました。

母の介護で日々学ばせてもらい、人との出会いを通して自分自身が少し成長できたように思います。人の温かさ、優しさ、労わり、思いやり、励ましをいつも周りからいただきました。これからも多くの先輩の方々の知恵とまごころを持ち、もう少し皆様のお助けができるよう、日々心のこもった言葉がけをしていきたいと思っています。

協力会員・理事 山内妙子

ヘルパーだより

NO. 36

64 歳になられる A さんは、右足に人工関節が入り歩行は可能ですが、かがむ姿勢が難しいようです。8 年前「足の爪きりをして欲しい」という依頼から障害福祉サービスが始まりました。

現在は、足浴・フットケア・簡単な居室の掃除をさせて頂いています。

訪問すると、いつも明るく元気な声で迎えてくださいます。常に前向きな考えをお持ちで、ケア中も社会情勢・健康について、また料理の話等、話題がとても豊富です。

足浴は浴室で桶に湯をはり、両膝から下へとお湯をかけ、足が温まった所に軍手をはめてふくらはぎから足全体を洗います。足浴中のフットケアは、ツボを意識しながら足の裏や指を押しています。「とても気持ちいい！」と言われ、こちらの手もさらに力が入ります。

ケアが終わった後には、天気が良いと整形外科へリハビリにも出かけられます。1 キロ近くの道のりを、杖をついて歩いて行かれます。

そんな A さんの今の希望は、ヘルパーさんに付き添ってもらい温泉旅行に行きたいとのこと。障害福祉サービスでは叶えられませんが、気の合うお友達と出かけられる日も近いことでしょう。



利用者さんからのことば・・・

足の爪切り、本当に助かってます。自分で爪が切れないとは思ってもみなかったことです。それにしても、もう 8 年も経ったとは…あの頃は若かったあー(´v´)(´v´)

